

広島女子大学家政 水野上与志子

目的 高齢化に伴ない寝たきり老人数も年々増加し、広島近郊の実態調査において65才以上の病人の35%は寝たきりの状態で、その中13%に褥瘡の発生がみられた。褥瘡予防の寝具が各種開発されて、シルバー産業に登場しているので、それらの各種性能を褥瘡予防の観点より測定し、検討した。また、失禁により尿が寝具に付着すると、尿中の微生物が増殖し、褥瘡の症状は悪化するので、防菌防ばい剤で加工し、寝床内を衛生的な環境とすることを考慮し、その効果を明らかにした結果について報告する。

方法 褥瘡予防寝具：Air・Mat I (gaymar製) Air・Mat II (Air噴出、松下電工製)無圧マットレス (ポリウレタンフォーム) 多層マットレス (アクリル、ポリエステル、レーヨンによる三層構造) 着床実験：寝床圧測定—ストレンゲージ (衣服圧センサー接続とひずみ計使用)、褥瘡多発部 (後頭部、肩胛骨部、仙骨部、大転子部、踵骨部) 温湿度測定 (エース温湿度計) 性能試験：パッド・シートにおける透湿性、漏水性、滌水性、通気性掛布団の保温性、防菌防ばい剤加工効果：加工布の一般細菌及び真菌を常法により培養。

結果 1) Air・Mat I は寝具圧を低くすることに優れ、Air・Mat II はAirを寝具表面に発生させると寝具内湿度を低くする。2) フェルトの pad は滌水性、透湿性に優れ、使用中快適であるが、長時間の使用で尿の漏れにより表面が僅か湿潤する。3) シートとしては、ポリエステル・ポリノジック・ポリエステル布をキルティングした物は、通気性、吸水性に優れ、適当な素材である。4) 防菌防ばい剤による加工により、尿付着による一般細菌及び真菌の増殖を阻止することができ、微生物的な衛生環境を保持することができる。